平成18年度　青山学院中等部（国語）　解答・解説

解答

一

(1) ① 亡（くなった）　② 傷（んで）
(2) イ
(3) ウ
(4) 愛（用）
(5) ① 「生きるよろこび」をもつ権利　② うばわれた
(6) 自由
(7) ア

二

(1) ウ
(2) ア
(3) （おとな）びた
(4) エ
(5) ウ
(6) 真新しいビル、コンクリート
(7) （結）束
(8) イ
(9) 有無
(10) ぼくには、
(11) F エ　I オ　K ウ

三

(1) ウ
(2) ウ
(3) エ
(4) 一種の新しい自然を発見していく（こと）
(5) トマトは夏の野菜だが、今では一年中見ることができるので、季節感を感じられなくなっているから。

四

(1) ① 二　② 一　③ 十　④ 一
(2) エ
(3) ア
(4) C き（ゃ）し（ゃ）　D せ（か）せ（か）
(5) 五
(6) 重いもの
(7) イ

解説

三

一

(5) 筆者は、「すべての人間に「生きるよろこび」をもつ権利があたえられている」と述べています。「不幸な人々」とは、「生きるよろこび」を持つ権利うばわれた（なくした、などでも可）人々であるということを読み取りましょう。

(5) 本文では、日本人の生活から季節感が失われ、季語から逆に季節感を学ぶようになってきたことが述べられています。トマトは今では一年中売られており、いつでも食べられるようになっていますが、そのために夏の野菜であることがわからなくなっていることをまとめましょう。